

会 議 録

会 議 名	令和５年度第１回東浦町社会教育委員会	
開催日時	令和５年５月１６日（火）午後２時から午後３時３５分まで	
開催場所	東浦町郷土資料館	
出 席 者	委員	石原弘幸氏、平井伸幸氏、水野智美氏、高崎義幸氏、中村六雄氏、南 茂憲氏
	事務局	教育長、教育部長、生涯学習課長、図書館長、スポーツ課長、生涯学習課課長補佐兼係長、文化財係長、生涯学習課主事、生涯学習指導員
欠 席 者	松下玲子氏、二宮邦子氏、外山淳子氏	
議 事	１ 令和４年度社会教育事業実績について ２ 令和５年度社会教育事業計画について ３ その他	
傍聴者の数	なし	
審議内容		
◆事務局 新社会教育委員、教育委員会異動者の紹介		
◆あいさつ 委員長		
◆あいさつ 教育長		
以降は委員長が議事を取り回す。		
◇委員長 次第に従い議事を進める。議事１「令和４年度事業実績」について事務局から説明を求める。		
◆事務局 ○生涯学習課の令和４年度事業実績を配布資料に基づき説明。 ＜文化センターポイント＞ ・「親子ふれあいイベント」は、高校生のボランティアスタッフを迎え、イベントの運営にも携わってもらった。これは、青少年育成にもつなげることができたと考えている。また、役場の他の課（環境課や福祉課とつながりのある生路の老人クラブさんや藤江プロジェクトさん）にも協力いただき、参加者に行政の取組を知っていただく要素を取り入れて実施できた。 ・「東浦ミュージックフェスティバル」、「うの花音楽祭」を３年ぶりに実施することができた。また、新型コロナウイルス感染症の再拡大により中止した地区もあったが、「高齢者教育事業」も３年ぶりに実施できた。 ・生涯学習講座・教室は、文化センターが３２講座延べ８６回、コミュニティーセンタ		

ーが 17 講座延べ 54 回開催された。

- ・東浦町婦人会連絡協議会は、地区婦人会活動の縮小や会員の減少により令和 4 年度をもって解散。

<郷土資料館ポイント>

- ・天白遺跡ひろばや入海貝塚をめぐる緒川地区史跡散策コースを設定して、緒川コミュニティセンターの敷地内に史跡散策コース案内板を設置した。
- ・天白遺跡ひろばの P R 動画の制作を緒川小学校の児童に、夏休みの自由課題として依頼した。東浦町のホームページの「文化財」に掲載されている。
- ・講座・教室開催事業は、新型コロナウイルス感染症対策のため定員を減らして、通常通りの講座を行うことができた。

<図書館ポイント>

- ・入館者数の推移、貸出点数の推移、貸出者数の推移を見るとコロナ禍前の状況に戻りつつある。特に、一度の貸出冊数が増えている。
- ・図書館事業として、「総合百科事典ポプラディア研修会 2022」を町内の小学校教諭、学校司書及び図書館関係者で行った。課題解決のためには、パソコンの時代でもブラウジングの楽しみを味わってほしいと考えている。
- ・令和 4 年度は、新規事業として、図書館ホームページのリニューアル、電子図書館の導入、学習席予約システムの導入を行ってきた。特に、6 月末から導入した学習席予約システムは、パソコン席も同様に予約でき、東浦町周辺の学生にも活用されていた。

○スポーツ課の令和 4 年度事業実績を配布資料に基づき説明。

<ポイント>

- ・スポーツ教室は、10 講座受講者 212 名で、定員に対する受講者の割合は約 86%と好評であった。
- ・東浦マラソンは 3 年ぶりに開催することができた。参加者は 1,076 人で、3 年前と比べると約半数になっている。この状況は、近隣市町でも同様である。また、企業からの協賛金が減って大変だった。東浦マラソンの新たな取組としては、東浦町と包括連携協定を締結しているスギ薬局から物品を提供していただいた。
- ・愛知駅伝も 3 年ぶりに実施された。昨年ジブリパークがオープンした影響で、1 月開催となったが、前回の 4 位から今回は 2 位となった。
- ・社会体育施設等利用状況については、17,012 件 269,092 名で 3 年前の水準に戻ってきた。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

「令和 4 年度事業実績」について意見がないことを確認し、議事 2「令和 5 年度事業計画」について事務局から説明を求める。

◆事務局

○生涯学習課の令和 5 年度事業計画を配布資料に基づき説明。

<文化センターポイント>

- ・高齢者教育事業は、今年度は全地区で計画通り実施できるように、各地区の老人クラブの役員さんと協力して計画を進めていく。
- ・生涯学習講座・教室は、文化センターが 18 講座、コミュニティセンターが 19 講座

の計画を立てている。

- ・親子ふれあいイベントでは、昨年同様に、東浦高校とコラボして、町の魅力を発見できるような町歩きイベントを計画していく。
- ・「第 21 回うの花音楽祭」や「落語を楽しむ会」は、実行委員会と計画を進めていく予定である。
- ・「地域学校協働活動の推進」と「地域クラブの立ち上げ」に取り組んでいく。

<郷土資料館ポイント>

- ・「緒川村郷蔵」は、昨年度、建造物の図面作成の調査を行った。今年度、将来的に現状のままでは維持できないということで解体工事を行う。
- ・地域文化財総合活用推進事業は、生路北組の屋形整備事業を実施する。
- ・今年度以降、各小学校区に残る文化財のPR動画の制作事業を継続する。今年度については、卯ノ里小学校、森岡小学校に依頼する予定である。
- ・東浦町内の文化財や歴史を案内する「東浦ふるさとガイド協会」の会員として活動していただける方を増やしていけるように、毎年「ふるさとガイドボランティア養成講座」を開催している。

<図書館ポイント>

- ・新規事業は、昨年 11 月に図書館利用者にアンケートを取り要望の多かったものを考慮に入れて、「ホームページから在架予約を開始」、「子ども向けホームページを開設」、「リサイクル本コーナーの設置」を計画している。
- ・昨年度導入した「電子図書館」の積極的なPRを図って、より一層の普及を目指す。
- ・館内に、児童・一般・特集のコーナーを設けて、1 か月ごとにテーマに合わせて展示をしていく計画である。図書館に来ていただいた方に、何か気付きを提供できればとスタッフが考えたテーマである。より一層の資料の有効活用を願っている。

○スポーツ課の令和 5 年度事業計画を配布資料に基づき説明。

<ポイント>

- ・ニュースポーツとして「モルック」は人気があり、スポーツ委員会を中心に東浦町のスポーツとして普及していきたい。
- ・愛知駅伝の選手募集について、昨年までは「駅伝の選手募集」で 30 名ほどが参加していた。今年度からは、幅広い子どもたちを集めたいと考え、「ランニングのスキルアップ講座」と名称を変えて実施する。5 月は 100 名の希望者があり、6 月も 70 名ほどの希望者があった。小学校 1 年生から中学生までを対象に、走ることに興味をもってもらい、東浦町の体力向上につなげていきたい。
- ・指導者養成講習会は、例年スポーツ協会、スポーツ少年団や各部活動の外部指導者の方等が参加されていた。今年度は、9 月から中学校の休日部活動が廃止されて、町内の中学生が参加できる地域クラブを設立する予定である。8 月頃に、その指導者になる方への養成講習をやっていききたいと考えている。
- ・今年度も、スポーツ委員会を中心に、いろいろな事業を実施して、町民のスポーツ振興に努めていきたい。

◇委員長

事務局の説明を受けて、委員の意見を募る。

最近話題になっているチャットGPTは、さらに発展していくのではないかと考えている。図書館の読書感想文や「非行防止と青少年健全育成町民大会」の中学生の意見発表文で使われるのではないかと、また、審査もたいへんになるのではないかと心配している。

◆事務局

読書感想文においては、すでにネットで拾った感想文をコピー&ペーストして提出されることもあった。現在、先生方の意向で、読書感想文は自由課題になっている。教育の現場において、読書感想文の価値が従来とは変わってきている。図書館としては、まず本に親しんでもらうことを第1目標にしている。読書感想文は一つの手法であって、マストではないと考えている。チャットGPTが普及しても、子どもたちには情報リテラシーの教育をすることが第1だと考えている。

◇委員長

図書館はいろいろ新しい取組を考えてくれている。たいへんなことだと思うが、今後もよろしくお願いいたします。

◇委員

図書館の「リサイクル本の取組」について教えてもらいたい。

◆事務局

図書館の資料は、一定期間が過ぎると除籍という形で廃棄される（図書の分類ごとに細かく保管期限が決まっている）。廃棄する予定のものをリサイクルフェアで差し上げていた。また、図書館は利用者から寄贈を受けることが多い。その中で、図書館で登録をして町民の方に貸し出しをする本は限られている。それ以外の本を、リサイクル本コーナーを作って、常時差し上げるということを考えている。

◇委員長

例年だと、半年に1回ぐらいまとめてリサイクルフェアを行っていたが、常時リサイクル本のコーナーができるのですね。

◆事務局

小さな本箱を利用して行おうと考えている。

◇委員

個人的に観光ボランティアガイドに興味がある。東浦町では、ふるさとガイドボランティアのニーズはあるのか。

◆事務局

資料館では、東浦ふるさとガイド協会の定例会での場所提供や受付窓口の支援をしている。今年度は、大河ドラマの影響で、緒川城址や村木砦の跡を見学したいという依頼がある。

◇委員長

定期的なガイド協会の活動としては、年3回の町内の各地区のガイドツアーを実施しており、1回20～30人の町内外の方が参加されている。この活動は、毎年コースや時期を変えながら実施している。東浦町の各小中学校への出前授業（町探検のガイド）も行っている。また、名古屋の高齢者教室の見学希望など、希望する団体の要望にも応えている。最近では、知多バスの「知多娘」を同乗させての観光ツアーのガイドも行っている。

◇委員

文化財補助事業について、藤江神社だんつく事業の会員数は、令和3年度は26名であ

ったが 16 名に減っている。また、村木神社おまんと祭り事業の会員数は、昨年 27 名であったが今年度は無記入になっている。減っているのか、どういう状況なのかを教えてください。

◆事務局

各事業の会員数は、補助金申請書からとっている。藤江地区だんつく事業は、会員数は減っているが、重要メンバーはほとんど替わることなく精力的に活動している。祭り以外でも、月に 1 回児童館で子どもたちに祭りを広めている。また、村木神社おまんと祭り事業は、まだ祭りの規模が確定していないため、申請書が出されていないので無記入となっている。

◇委員長

村木神社おまんと祭り事業も、柵の中に入れるのは本来 18～24 歳であったが、なり手が少なくなり年齢の高い人にも参加してもらっている。参加している人は真剣に取り組んでいる。どの祭りも保存会会員は減ってきている。

親子ふれあいイベントは、にこにこタウンをやめて移行したイベントですね。

◆事務局

にこにこタウンは、以前のように実施すると参加する人が密になるので、屋外で親子いっしょに取り組めるイベントに変更した。このイベントは、親子のふれあい、青少年育成の観点から取り組みやすいイベントになってきたので、継続していきたい。今年度は、他の町歩きのイベントとの兼ね合いを考えながら取り組んでいこうと考えている。

◇委員長

地元の高校生も参加して、子どもたちと触れあってくれるいい取組だと思っている。

◇委員

於大まつりは楽しみにしていたが、雨で中止となった。雨の場合は延期できないか。また、最近桜の開花が早くなっている。開催日に何かいわれがあるのか。

◇委員長

毎年 4 月の第 3 土曜日に開催されている。

◇委員

桜の満開が第 2 週ぐらいになってきている。また、町を盛り上げるイベントであるので、雨で中止になるのはもったいないと感じている。

◇委員長

於大まつり推進協議会があるので、要望があればだしてほしい。以前は、雨の時はイオンの中で行列が歩いたり、順延して日曜日に行ったりしていた。商工会の関係者などまつりに関係する人たちが二日間日程を取られるのは難しくなっている、今のようになっている。

◆事務局

桜の満開時期は、温暖化で不安定になってきている。また、年度初めは様々な行事が多い状況である。

◇委員長

於大まつりの水上ステージでも、いろいろな催し物があり、各団体の発表の場ともなっている。のんびりと日差しの中で発表できると素晴らしい。

◇委員

町外からもたくさんの人が集まり、東浦町をアピールするいいイベントになっていると思う。

◇委員長

いろいろと於大まつり推進協議会で検討してもらえるとありがたい。

◇委員

町婦人会連絡協議会がなくなったということであつた。区長として、地域連携ができるような取組をやりたいと考えていた。今回、事業実績や事業計画を見ていると、個々の事業も大切だと思うが、コミュニティの委員も運営に参加してできるような世代間や団体間の交流ができるような事業を考えていきたい。現在、コミュニティの加入者も減って、全世帯に連絡が伝わっていないこともある。これは、新型コロナの影響で事業がないなら入らなくていいという考えが広まったり、高齢世帯・単身世帯が増えたりしたことが理由と考えられる。地域の人に参加したくなるようなイベントを企画してもらえるとありがたい。

◇委員

生路小学校では、毎年3年生を中心に郷土資料館を見学させてもらったり、体験をさせてもらったりしている。また、ふるさとガイドボランティアの方に、神社などの地区を回るときにいろいろ教えてもらっている。子どもたちにとって生きた体験は大切なことであり、自分の地元を知る意味においても学校現場にとってありがたいと思っている。人と人をつなぐ活動を続けていくことは大切なことだと考えている。

◇委員長

令和5年度取組について説明いただき、新しい取組もあるということであつた。これからもアンテナを張りながらいろいろな情報を得ていただき、東浦町の人々の思いをキャッチして事業に活かしていってほしい

「令和5年度事業計画」について更なる意見がないことを確認し、議事3「その他」について事務局から説明を求める。

◆事務局

○「その他」特になし

◇委員長

その他の案件がないことを確認し、議事の終了を宣告。

◆事務局

次回の委員会について連絡。次回は、10月に予定。日時は後日連絡。

備考	なし
----	----